

# 平成31年度 自己評価・学校関係者評価報告書 (令和元年度)

令和2年3月27日  
学校法人念法学園  
幼稚園型認定こども園念法幼稚園

## 1. 本園の教育目標

『げんきなからだ・すなおなこころ・感謝のきもち』を園訓とし、よりよい環境の中で、直接的・間接的体験を積み、生涯にわたる発達の基礎を培う。

「心の教育」を主とした、心情・豊かな感情・意欲・態度など教育の根本とし、「生きる力」の育成に力を注ぎ、世の中のお役に立つ立派な人に育てる。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標を重視し、幼児期的人格形成の基礎を培う教育に努める。その中で今までの保育内容・環境を見つめ直し、より子どもの育ちに繋がるように教職員の共通理解を図りながら、ひとりひとりの幼児を大切にしたい質の高い保育の実践を目指す。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

|   | 評価項目                | 評価 | 取り組み状況  |
|---|---------------------|----|---|
| 1 | 教育課程を見直し改善を図る       | B  | 教職員で普段の保育、行事のふりかえりを行い、保育内容・環境の見直しを行なった。                                       |
| 2 | 教育の質向上のために、研修を充実させる | B  | 従来通り、私立幼稚園団体主催の研修などに積極的に参加し、知識向上に努めた。また、本年度は、より園内研修の充実を図り、教職員間で話し合う文化づくりに努めた。 |
| 3 | 預かり保育の充実            | A  | 本年度より幼稚園型認定こども園に移行したこともあり預かり保育時間を充実させた。                                       |

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

| 評価 | 理由   |
|----|--|
| B  | 3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、保育内容・環境を見つめ直し、より子どもの育ちに繋がるように教職員の共通理解を図りながら、ひとりひとりの幼児を大切にしたい質の高い保育の取り組みの成果が見えてきた。今後は1つずつ課題をクリアし継続して取り組んでいく。 |

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

### ◎「教育課程を見直し改善を図る」

今までの保育内容を全職員で話し合い、少しずつ保育を見直すことができた。たとえば、文字遊びや色遊びは、今まで教材を使用していたが、子どもたちが遊びの中で、興味・関心が持てるように工夫した。

### ◎「教育の質向上のために、研修を充実させる」

私立幼稚園団体主催の研修に各職員それぞれが自身に必要な研修を自ら選び、スキルアップにつめることができた。また、園内研修の年間計画を立て実施した。

### ◎「預かり保育の充実」

本年度より幼稚園型認定こども園に移行したこと、また保護者の就労者が増えたこともあり、開園時間を8時間から11時間に延長し、預かり保育も7時30分から8時30分の早朝預かり保育と保育後の預かり保育を17時から18時30分まで延長した。時間が伸びた分、保護者からは、喜びの声が聞かれたが、子ども自身の負担は大きいと感じた。今後は、子どもたちが教育時間終了後は、ゆったりと過ごせる環境の充実と保護者に対して、勤務終了後、速やかなお迎えをお願いしていくことが必要と感じた。

## 5. 今後取り組む課題

|   | 課題           | 具体的な取り組み方法   |
|---|--------------|--|
| 1 | 保育環境         | 園庭や室内の環境について話し合い、遊びが充実するように子どもの興味・関心のある環境の構成に取り組む。                     |
| 2 | 保育の可視化       | 保護者に子どもたちの活動を伝え子どもの育ちを共有し、園の教育への理解を深めるとともに保育者の子ども理解を深め、開かれた教育課程の実現を図る。 |
| 3 | 研修の充実        | 教育の質向上のために、研修計画及び新任教育課程を作成し、園内研修の充実を図る。また、園外研修へ積極的に参加できる体制を整える         |
| 4 | 職場環境・業務内容の改善 | 教育・保育の質向上に繋がる話し合いや準備の時間がつくれるように一人一人の業務内容の改善、ICT化による業務負担軽減を図る           |

## 6. 学校関係者の評価

子どもの育ちに繋がるように保育内容・環境を見直す取り組みがみられてよかった。個人のスキルアップに繋がる外部研修への積極的な参加、園全体のスキルアップ・チームワークに繋がる園内研修の取り組みは、質の向上に繋がるので計画性を持って継続してほしい。預かり保育は、今後、より必要性が高まるので、人員配置など厳しい面もあると考えられるが、これからも子どもたちの負担になりすぎない環境づくりと、子どものことを1番に考えた体制づくりを目指してほしい。引き続き、園の教育目標のもと一人一人を大切にされた保育を実現し、子どもを中心に園づくりがなされていくことを期待したい。